

## 環境事故が起きた際の企業の危機管理

～土壌汚染・不法投棄の具体事例に基づく実践的なシミュレーション～

土壌汚染、産業廃棄物等環境規制の強化に伴い、環境事故の対応に巻き込まれる企業リスクが増大しています。排出事業者が注意義務違反を理由に措置命令を受けた事例、汚染した土壌・地下水からの浸出水によって農業用水や上水道水の汚染が懸念されて責任が拡大した事例、さらには社会的責任から自主的に撤去や費用拠出を申し出ざるを得ない事例など、枚挙にいとまがありません。

こうした問題では、地域住民、議会、マスコミ、国・都道府県・市町村、事業関係者などさまざまな立場から説明・保証、対応措置、費用拠出を求められますが、一つの対応ミスから不信の輪が広がって利益優先の悪徳事業者と批判される危険と背中合わせです。環境事故が発生すると、実際に何が起こり、誰がどのような対応を求められ、何に注意すべきかを役職員が正しく理解し、実効性のある予防と危機対応を準備しておかなければなりません。

本セミナーでは、こうした環境事故に伴う対応実務について、土壌汚染・不法投棄の具体事例に基づくシミュレーションを行いながら、求められる対応と注意点を解説します。

**日時** 2014年9月25日(木)午後2時～午後5時

**場所** 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル 6階会議室(裏面地図参照)

**内容** 1. 土壌汚染・不法投棄に関する法規制の概要: 弁護士 内藤文嗣  
 2. フェーズ別 対応のテーマと選択肢 コーディネーター: 弁護士 佐藤泉  
 フェーズ①: 敷地内から土壌汚染が発覚!  
 フェーズ②: 汚染の事実がマスコミにリーク!  
 フェーズ③: 再発防止と信頼回復への道のり  
 3. 失敗しない対応のポイント整理

**解説** 日本CSR普及協会 弁護士 佐藤泉、内藤文嗣、寺浦康子、伊達雄介、北島隆次、笹本雄司郎(株式会社マコル)

**主催** 日本CSR普及協会 後援 日本弁護士連合会

**参加費** 5,000円(当日申し受けます) 会員弁護士・会員企業(2名まで) 無料

日本CSR普及協会 事務局 宛( FAX:03-3583-2699 )切り取り不要

第2回研修セミナーに出席を申し込みます。【申込締切日: 9月16日(火)】

1. ①企業関係者 ②弁護士(登録番号 ) ③その他( )

2. 住所 〒 (電話) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ (e-mail) @ \_\_\_\_\_

フリガナ

3. 氏名 \_\_\_\_\_ ご所属 \_\_\_\_\_ (企業名・部署名・弁護士会)

4. ① 協会会員 ② 協会理事 ③ 近畿支部会員 ④ 非会員

◎ 問い合わせ先 日本CSR普及協会 (電話 03-3568-3891) <http://www.jcsr.jp/>  
 ご提供いただいた個人情報は本セミナーに関する連絡以外には使用しません。